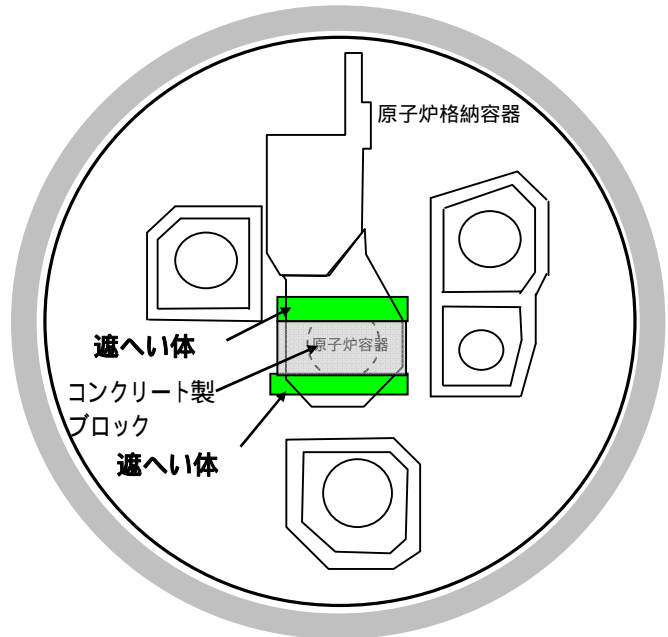
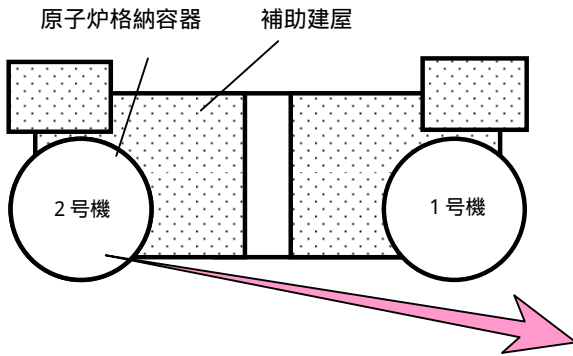


# 図 - 1 原子炉容器周辺遮へい体設置工事

## 工事概要

原子炉運転中に機器の点検で立ち入る原子炉格納容器周辺建屋屋上の放射線量を低減させるため、原子炉容器の上部に遮へい体を追加設置した。

## 系統概要図

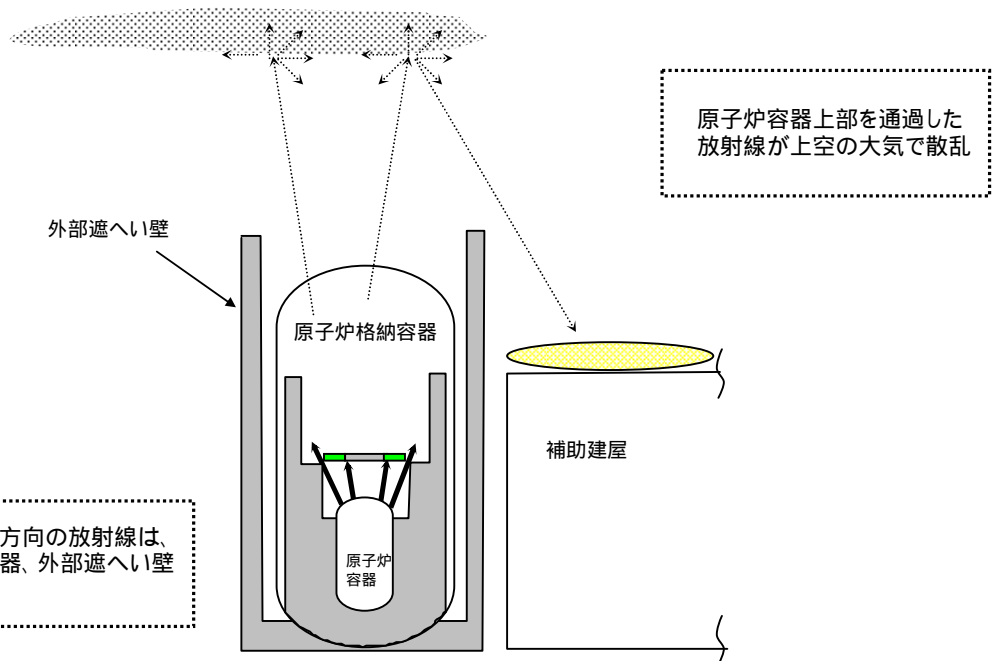


制御棒飛び出し事故時の影響緩和のために設置  
(放射線遮へいの役割も果たす)

### [遮へい体の主な仕様]

鋼板型枠コンクリート製  
寸法：約9.1m×約1.5m×約0.25m  
重量：約18t

鋼板型枠コンクリート製  
寸法：約9.3m×約1.5m×約0.25m  
重量：約22t



原子炉容器上部を通過した放射線が上空の大気で散乱

原子炉容器横方向の放射線は、原子炉格納容器、外部遮へい壁等により低減